

緊急のお知らせ

会長 片山 宣子

この度、同窓会誌に中高制服変更に関してのお知らせを同封しております。
皆さん、是非お読み下さい。中高制服変更の経緯を簡単にお知らせします。

【 経緯 】

- ・6月26日(月) 17時から職員研修会。制服を来春から変更すると発表(改革担当理事只木先生より)
驚いた先生方の質問もあったが、2つのブレザースタイルのどちらがいいかのアンケートに答えるように指示があった。
- ・6月27日(火) 礼拝後に、改革担当理事只木先生が生徒に発表。
制服変更の決定をしたので選択アンケートに答えるように指示があった。制服のサンプル展示。
生徒は写真をSNSで発信。(サンプルは2日間で撤去された)
保護者宛の決定通知が生徒を通して配布された。(アンケート回収日時、回収責任者は提示されず)
- ・6月27日(火) 朝 卒業生から同窓会への問い合わせ始まる。
- ・6月29日(木) 朝 片山が島田校長に面会を申し込む。(決定の経緯と同窓会に知らせもなかったことについて尋ねる為) 校長出張。統括本部を通すようにとの事務長より回答。
統括本部に問い合わせる。島田校長と面談できないのであれば、樋口学院長とお会いしたい旨を伝える。
30日、13時30分に面談の約束をする。
- ・6月30日(金) 樋口院長に面談
質問に対して制服変更の発表は事実である。決定した。(常任理事会で決定)
理事会・同窓会には事後報告でいいと判断した。(改革推進する学院長としての判断である)
理由 ①梅光は新しくなるということを具体的に示す必要がある。今の制服は女学院のイメージが強く男女共学も広く浸透できていない。新しい学校ということを出すためには断固実行したい。
②今の制服は洗濯なども簡単ではない。留学などを積極的に実施するためには取り扱いやすく清潔を保てる(洗濯)ものにする。この度生徒に示したものは洗濯機で洗えるものだ。寒暖の調整も容易。

同窓会からの意見

- ②に関しては工夫ができる。制服変更という極論の必要はないのではないかと。
- ①新しくなるという教育内容の充実こそが先決であり、生徒・保護者が安心できる充実した教育環境の構築こそ力を入れるべき(専任教師の減少・講師・非常勤教師の多さ・教職員の入れ替えの激しさなど信頼を失う要素であるし、生徒保護者の不安がある)「新しい学校」の可視化が制服変更では安易で短絡的。
制服は「梅光」の100年以上に亘る歴史を象徴し、卒業生の思いも深く重い。地域の一つの文化となっている。制服を変えるというのは、伝統の持つ力を切り捨てることであり、それによるマイナス点を軽視した判断と考えるので再度検討して欲しい。
- ③事務局だけの問題ではないので同窓生に知らせる。
以上の3点を申し上げた。

この経緯を受け、皆さんに会誌と共に送付してご協力をお願いしています。
よろしくお願いします。